


山都町立矢部小学校 学校だより

自分らしく～Be Unique～

矢部小HP

令和7年1月20日(月)

第39号

2次元コード ← カラー閲覧できます

校長 池部 聖吾智(みわとも)

どう過ごす「次学年のゼロ学期」
 3学期は「学年
 のまとめ」という意味
 に加え、「次学年
 になる準備をする
 ことを始業式で子どもたち
 に話しました。
 2学期からの課題として
 点挙げていきました。まず「あ
 ちに話をしました。
 金曜日の朝は、曲がり角に隠
 され（笑）私を待ち伏せて「あ
 らに、今後は「地域に響く」挨拶する子が増えました。
 2点目の「歌声」についてです。
 こちちは大きな課題です。冬。
 レベルにしていきたいです。
 2点目の「歌声」についてです。
 が勝つていています。
 中庭に立つて「今月の歌
 が聞こえてきません。児童の声
 が」
 ハ朔祭において鼓笛「演奏」
 を持つた人に感動を与えた矢部
 小学校。多くの人には感動的で
 ありました。放送の声が
 「笑」で窓を開めていることでも多少冬。
 2点目の「歌声」についてです。
 が聞こえてきません。児童の声
 が」
 うる伝統ある矢部小学校。
 うる伝統ある矢部小学校。

「楽しむ」人には、かなわない

出典：「山口周著 人生の経営戦略 ダイヤモンド社」

紀元前時代中国の思想家・孔子の言葉に「これを知るものはこれを好むものに如かず。これを好むものはこれを楽しむものに如かず」というのがあります。これを社会心理学の立場で言えば、「外発的動機で動く人=頑張る人」は「内発的動機で動く人=楽しむ人」には勝てないということになるそうです。(以上、前掲書より引用)

パリ五輪女子柔道金メダリストの角田夏美選手は、以前世界選手権で銀メダル獲得後に極度のスランプに陥り、結果を残せずにいたそうです。そんなとき、「思いっきり結果も関係なく負けても楽しい柔道をやる」と決め勝敗よりも柔道を楽しむことを大切にしたら練習も楽しくなりスランプから脱出できました。私自身も、これまでの人生の中で、大変なことや面倒くさいところに遭遇する場面が多くありました。そんなとき世をうらみ、よくよしたところで何も解決しません。そこで、課題から逃げず、トラブルを楽しみながら手を打っていくと次々と解決できました。何よりも貴重な経験が学びとなったのです。

矢部抄

この週末も腹いっぱいの二日間だった▼土曜日は熊本市内で講演会。地域おこしに係る興味深い話だった。
 話を聴きながら山都町のことを考えた。今やつてることは「バタフライエフェクト」にあたるかなあ・・と頭の中で自画自賛してみた笑▼会の後は、軽く呑んで帰った。店のあるビルから出ていると本校○○先生と遭遇した。スゴイ偶然である。同じ店だったのかな?▼日曜日は、先週に引き続き地域行事に参加了。本校児童の参加が昨年より少なく寂しかったが、行事そのものは大変楽しませてもらつた▼午後からは菊池の実家へ行つた。今日は、かなりの距離を運転した。夕食は宅配ピザを注文。LサイズかMサイズ2枚か?ここなのはしサイズだが多くの種類を食べたいのでMサイズ2枚を注文、全8種を食して満足!ト

